

「情報公開文書」

課題名

「微小血管における血液流動性に関する後ろ向きコホート研究」

受付番号: 日光 24-013

1. 研究の対象

- (1) 下記★に記載されている研究等に登録されている症例
- (2) Antonpaar 測定器の導入時にプレテストで測定された日光医療センターの staff 症例

★

- i. 琉球大学附属病院において、2011 年 1 月 5 日～2012 年 3 月 30 日までに血液流動性検査と心臓カテーテルを実施した患者のデータ
- ii. 「日光 24015」研究課題名: 生活習慣病における血液流動性と血管機能に関する研究
※今研究においては、2014 年 11 月 1 日～2015 年 12 月 31 日までに登録された健常者のデータ及び、2016 年 5 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに登録された循環器病疾患において入院された患者のデータを使用
- iii. 「日光 27007」研究課題名: Dapagliflozin の血液流動性と白血球活性化(変形能や粘着能)と酸化ストレスに与える急性効果
- iv. 「日光 28001」研究課題名: 魚油に含まれるエイコサペンタエン酸による運動効率改善効果に関する検討
- v. 「日光 31016」研究課題名: 2 型糖尿病またはメタボリックシンドロームで高中性脂肪血症の患者におけるペマフィブラートの微小血管における血液流動性に与える影響の検討
- vi. 「日光 31017」研究課題名: 高中性脂肪血症の患者におけるペマフィブラートの微小血管における血液流動性に与える影響の検討
- vii. 「日光 29012」研究課題名: 大胸筋電気刺激の安全性と効果の検討
- viii. 「日光 21-011」研究課題名: In vivo と ex vivo 微小循環評価の心臓リハビリテーションにおける意義
- ix. 「日光 21-005」研究課題名: 生活習慣病や心血管疾患における血液流動性と微小循環に関する後ろ向きコホート研究

2. 研究期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日
(集積期間: ～25 年 12 月 31 日、解析期間: ～26 年 12 月 31 日)

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日:2025 年 4 月 1 日 (研究実施許可後)

提供開始予定日:該当無し

4. 研究目的

血液は、体のすみずみまで酸素や栄養を運ぶ重要な役割を担っています。しかし、糖尿病や脂質異常症(コレステロールや中性脂肪が高い状態)、高血圧などの生活習慣病を持つ方は、血液がドロドロになりやすく、心筋梗塞や脳卒中などの重大な病気を引き起こすリスクが高くなります。

本研究では、過去に検査された患者さんの血液の流れ(血液流動性)のデータを分析し、心血管疾患との関係を詳しく調べます。これにより、血液の流れが悪くなるとどのような病気が起こりやすいのかを明らかにし、将来的な予防や治療に役立てることを目的としています。

5. 研究方法

本研究では、2011 年から 2024 年の間に、当院や共同研究機関で血液流動性の検査を受けた方のデータを使用します。

本研究では、すでに記録されたデータのみを使用し、新たな検査や通院の必要はありません。また、個人が特定されないよう、データは匿名化され厳重に管理されます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

i .血液の流動性データ等

- 血液の粘度(どのくらいサラサラか、またはドロドロか)
- 白血球の活性(血液の中の細胞の動き)
- 酸化ストレス(血管や細胞にダメージを与える物質の影響)

ii .患者さんの基本情報等

- 年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数
- 生活習慣(喫煙、飲酒、運動の習慣)

iii .過去の病歴や服薬情報等

- 糖尿病、脂質異常症、高血圧、心疾患の既往歴
- 服用している薬の種類(血圧やコレステロールを下げる薬など)

iv .病気の発生状況等

- 研究開始後に心筋梗塞や脳卒中を発症したかどうか
- それぞれの病気がどのような条件で起こったか

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信等により共同研究機関へ提供

します。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

獨協医科大学日光医療センター 教授 安 隆則

琉球大学大学院医学研究科 教授 楠瀬 賢也

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科学研究費補助金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科 研究室 吉澤

住所：栃木県日光市森友 145-1

連絡先：0288-23-7000

E-mail: kyoshi@dokkyomed.ac.jp

研究代表者：獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科 安 隆則

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有個人情報については、獨協医科大学日光医療センター管理課が担当窓口となります。

【獨協医科大学日光医療センター個人情報保護方針】

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/privacy-protection/nikko.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合